

平成31年度 第1回 「宇都宮市民大学運営協議会」議事録

- 1 開催日時 平成31年4月18日(木) 午後3時00分～午後4時30分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター 研修室(中央生涯学習センター5階)
- 3 出席者 委員 7名(別紙参照)
事務局 9名(生涯学習課)
増渕課長, 今井課長補佐, 藤田係長, 泉総括, 高田専任,
加藤社会教育主事, 若林社会教育主事, 古谷主任主事

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴人 0人

6 会議次第

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 議題

① 平成30年度宇都宮市民大学事業報告について

② 平成30年度宇都宮市民大学収支決算について

③ 平成31(2019)年度宇都宮市民大学事業計画(案)について

④ 平成31(2019)年度宇都宮市民大学収支予算(案)について

⑤ 宇都宮市民大学専門講座における公開講座の取り扱い変更について

(4) その他

(5) 閉会

7 会議資料 別添資料参考

8 議事の経過

① 平成30年度宇都宮市民大学事業報告について

川本会長 委員のみなさんからの意見質問を伺いたいが、いかがか。

島田委員 出席率が4分の3以上の割合を出しているが、1回で来なくなったという数字は出せるのか。

事務局 1回のみ出席した受講生数は確認を取れていない。定期的に曜日や時間帯を定めているのだが、後期は文化的なイベントや、地域の文化祭などもあるので、重なった行事が入ってしまったらキャンセルの連絡をいただいている。最終日の出席の時には、欠席した分の資料は渡している。途中が抜けても、修了した場合には、修了証として、受講者証に学長の押印をしている、

島田委員 自分が思っていた講座と内容が違う、というアンケートの回答はあるか。

事務局 そのような意見も一部の講座ではある。広報誌だけだとタイトルのみの掲載であるため選択が難しいかもしれないが、パンフレットで募集をして概要や詳細は記しており、また、HPでも閲覧できるように準備も進めているので、概要や各回の学習テーマ、講師の肩書・名前で全体のイメージ掴み判断し受講いただければと思う。

また、市民大学は1回1回先生も異なることがあり、普段講師ではお招きしないような先生をVスタッフの方で選んでいるが、場合によって解説中心となってしまうので、もっと掘り下げた方が良かったということもあり得る。

多数の意見ではないので、全体的には学びが深まり十分満足度は得ていると思うが、回によっては講師の経験などから受講者が認知していたものと若干違う場合もあり得る。

川本会長 ほかにあるか。

大山委員 宇都宮市民大学の外部の評価を報告する。

社会福祉協議会会長から直々に電話があり、宇都宮市民大学のパンフレットを見ると、毎回粒ぞろいの講座を企画運営していて、そして見やすい。全国的にもレベルが高いというお褒めの言葉をいただいた。

私が担当した講師の渡邊先生から、宇都宮市民大学のおかげで自分の研究成果が広まり、現在2本目の論文を執筆中とのことだった。

宇都宮市民やボランティアスタッフのみならず、講師の方々にとってもモチベーションが高まる企画だと実感している。草間先生からもすばらしという言葉をいただいている。ほかの機関の方からも、パンフレットの出来が素晴らしいとお褒めの言葉をいただいている。今後も継続していただきたい。

今後の集客を考えると、現状は60代70代中心、リピーター中心で、ほとんど若い人がいない。土曜日に講座を試みてみたが、やはり高齢者が多い。本来の生涯学習は、赤ちゃんから棺に入るまでだと考えているが、もう少し間口を広げ、仕掛けをするやり口があるのではないかと考える。

	<p>リピーターの中には複数受講されている方がいる。そういった方に対しての特典として、2つ目の講座の割引や会員制など、色々と考えてみると面白い。継続している60代70代の方は80%と多いことから、このような方も大事にしていきたい。</p>
事務局	<p>課内で十分な協議はしていない意見であるが、前期の土曜日の講座については、若い世代が受講するかと期待していた。比較的誰もが受講できる曜日、時間帯ではあったが、他講座と変わらず60代70代が主流であったことがこちらの期待と外れてしまったと分析している。一方で「住みやすい都市と環境を考える」は、平日の講座だが幾分30代40代の参加があった。</p> <p>テーマが大きく影響していると考えられる。平成30年度後期講座は、健康の講座が2つあり、年齢の幅の広がりがあった。健康というテーマであれば高齢者に限らず関心をもって参加していただければ、初回受講者も他よりも多く受講している傾向が読み取れたことから、今後、さらに分析し、来年度の企画の際の参考にしたい。</p> <p>さきほど仕掛けの話だが、議題にしていくので、今後も意見をいただきたい。</p>
大山委員	<p>土曜日の講座に若者の参加を期待していた。一方で、講座を何で知ったかというアンケートでは、ほとんどが広報うつのみやであった。この広報誌を、シニア層が見るほど若い人が見るのか。別の訴求の仕方があるのではないか。「なにで知ったか」という問いに対して、複数回答が可能なのか。</p>
事務局	<p>一択である。</p>
大山委員	<p>市民大学のパンフレットの置場であるが、男女共同参画が所管する施設には置いてあった。個人的に見に行ったが、中央図書館には置いていなかった。南生涯学習センターには置いてあった。知的好奇心が高い方が多いので、図書館に置いていただきたい。</p> <p>若者に対してはどのようにしていくかを考えている。8年前、夜にビジネス講座をやってみた。仕事に直結した方が若い人が関心があるのではないかと思ったが、時間的にも金銭的にも参加はシニア層だった。若者に対する企画を練ってぶつけていくことが今後重要である。また、アピールの仕方も面白くやっていくべきである。N</p>

HKなどと協力するやり方もあるのではないかと。色々チャレンジしていただきたい。

川本会長 若者をどう取り込んでいくかという課題については、講座の数が限られていること、現在の講座も毎回安い受講料で近くて楽しみにしている高齢の方にはいい機会であるで、いろいろな意見があると思う。

(一同) 30年度の事業報告について承認いただきたいがどうか。
(異議の声なし)

川本会長 承認いただいたので、この議題を終了する。

② 平成30年度宇都宮市民大学収支決算について

川本会長 決算に関して、意見質問はあるか。

江田委員 決算・幹事について、いろいろとご苦労とあったかと思うが、ありがとうございます。

大山委員 収益事業ではなく地域の講座を求められているが、決算書の収入と支出が0になるのは公共事業の意味合いからこのようになるのか。

事務局 市民大学は市から交付金を受けており、市交付金事業は繰り越しができない背景があるが、今年度については印刷機器として受講者に還元し、収支差0円の清算となった。次年度はまた違う形で、講師謝金よりも環境整備をしていくことを考えている。

川本会長 平成30年度宇都宮市民大学収支決算について承認いただけるか。

(一同) (異議の声なし)

川本会長 承認いただきありがとうございます。

③ 平成31(2019)年度宇都宮市民大学事業計画(案)について

④ 平成31(2019)年度宇都宮市民大学収支予算(案)について

川本会長 平成31年度事業計画案、収支予算案について、意見はあるか。
小林委員どうか。

小林委員 大丈夫だ。

川本会長 小針委員はどうか。

小針委員	参考資料2-2において、1から3の講座が男性が多く、4から6は女性が多く、偶然いいバランスになったと思うが、次年度はどのようなになるのか。
川本会長 事務局	そのことについては、事務局はどのように考えているのか。 今後、受講決定していくが、現在の申込みは男性が161名、女性が154名である。 抽選前であるが、講座別に見ると、大幅に男性女性の比率が異なるのが「近代を切り開いた栃木の女性たち」で、極端に女性の受講希望が多い。内容が女性側によってしまったので、反省している。おおむね今のところ、半数ずつくらいなので男性も女性も希望できる講座を準備できたと思う。 抽選に関しては、救済措置として、ひとつ前の講座で抽選に落ちた方、新規申込みの方を優先にする。 それ以外の方は男女比率関係なく、機械で抽選するので決定した方には受講決定、落ちた方には落選を通知する。
小針委員	最初から男女比率を考えなくてもいいと思うが、相当しぼりこんで選びこんで結果的にそうなったと思った。
川島委員 事務局	今年度の予算について、市交付金が前年度から65,000円減額されている理由はなにか。 市役所全体として、交付金補助金が一律5パーセントカットになったことから、市民大学も同様となった。今後、運営や予算等を工夫していく。
大山委員 事務局	全セクション対象か。 生涯学習課だけではなく、全庁対象だ。
島田委員 事務局	50人定員の講座で、受講者数を80人に増やすのは大丈夫なのか。 はじめの定員は、企画した者が想定した人数であり、どれくらい受講者を獲得ができるか、定員を上回るかが目標となる。当該講座については、講師から講座に関わる参考物品：実物を見せながら講義するため50名くらいが適当であると事前に確認していた。今後、講座の実施手法により定員の多い少ないは生じてしまうが、出来るだけ多くの方に学習を提供できるように工夫していく。
大山委員	この教室でするので、80人くらいなら開催可能ではないか。

島田委員	少しでも多くの方に参加いただくのはいいが、バランスも考えたほうが良い。
川本会長	野中委員ありますか。
野中委員	前半の報告にあったが、表題の工夫もしてあり、良いと思う。
大山委員	講座「南極大陸」の館外学習について。私も過去に3コースの館外学習を担当し、同行している。過去はバスを2台使っていたが、今回は1台にコンパクトにまとまっている。バスは1台が良いのか、来年度に館外学習の企画を予定しているので、今後の参考までに聞きたい。
事務局	今回は、講師が同行するということと、東京都立川市の南極北極科学館まで時間がかかるので車中、講義説明を受けながら移動する予定につき、最終的な決断は1台となった。過去の2台で実施した件に関しては、企画の段階で2台使用したいという企画であった。企画の段階で2台希望であり、必要性があるのであれば、そのように検討する。
大山委員	前は65名定員だったのを今回は削るのか。今回は何名くらいになるのか。30名くらいか。
事務局	大型バスを貸切る都合上、50名定員で予定している。スタッフは10名くらい同行するが、体調や移動時間の都合で館外学習のキャンセルが見込まれるので、それ次第と考えている。
川本会長	平成31年度、事業計画案収支予算案について事業をすすめていただきたいと思うが、承認いただけるか。
(一同)	(異議の声なし)
川本会長	ありがとうございました。

⑤ 宇都宮市民大学専門講座における公開講座の取り扱い変更について

川本会長	この取り扱い変更については、以前から審議・議論をしてきたが、みなさんの意見を聞きたい。
大山委員	前回帝京大学でエクスカージョンのような別途の募集がかかったが、それはどのようになったのか。予告なく突如始めたので、そのことについて聞きたい。
事務局	参加した20名の方は大変好評で、帝京大学ならではの各学部が保有している、外部では見られない場所などを見せていただいた。

- 急な募集だったので、50名の募集で20名の参加だったが、受講者は大変喜んでおり、各施設で説明及び案内をいただいた教授陣にも手ごたえがあったようだ。
- 大山委員 公開講座のアンケートデータで、遠くて行きづらいなどの意見があり、ここに今後の方針のヒントがある。
- 各大学には特徴のある学部や学科があるので、そういうものを見つけ、公開講座を考えていく方がより集客できるのではないか。
- 帝京大学のエクスカッションは参加者20名であったので、今後どのように展開していくかが求められる。
- もう一つ、公開講座の出席を専門講座の出席要件に入れないことは良いとして、公開講座に出席した方や全て出席した方に特典を与えるのはどうか。
- 事務局 今回宇都宮短期大学で実施するにあたり、大きいホールの環境がありそちらで音楽を聞かせてもらう。当日は、バスの時間の関係で1時間程度の待ち時間ができるが、食堂での食事や図書室の書籍の閲覧など、大学側にご協力いただける予定であり、受講者にご案内できるよう準備を進めているところである。現時点で公開講座だけの参加を希望している方が10名いる。公開講座をどのように展開すれば良いかについては、今後の検討事項である。
- 大山委員 公開講座は、専門講座の延長にあってはいけないのではないか。付加価値をつけ、公開講座の特徴づけをしていくことも大事だが、検討いただきたい。
- 事務局 連携する大学に無理を言って期間内の準備をしてきていただいたところだが、実施時期や場所、開催曜日などの個別の事項だけでなく、全体的な工夫ができるよう、検討をさらに深めていく。
- 江田委員 今回の宇都宮短期大学の講座について担当しているが、音楽療法については、健康や自分の身体のことに関心のある人の一助になればと考えている。
- 今回の音楽ホールは専門の会場であり、音の響きの良さなどを重要視している。会場には段差があるため、注意して利用していただきたい。
- 川本会長 3年前の企画時も、声楽の方が講師となり、素晴らしかった。私個人も大変期待している。

島田委員	以前、音楽療法の先生に学生と一緒に話を聞く機会があり、こういう療法があるのかと感動したところである。今回の先生も楽しみにしている。
川本会長	事務局の対応案について、反対意見はあるか。
小林委員	事務局の対応案について反対ではないが、この受講料 500 円というのは継続していくのか。
事務局	受講料 500 円については、今回について案内済みである。 受講料を課すかどうかについては運営協議会で協議すべき内容であることから、今年度協議し、来年度から反映していきたいと考えている。
大山委員	受講料の徴取に反対する意見は相当数あるのか。
事務局	公開講座に出席できなかった専門講座受講生から、専門講座受講料に公開講座受講料が含まれていることに不満があるとの意見が出ている。
川本会長	今後の公開講座受講料については、8月の会議において議論する機会があるため、今回としては事務局案について承認いただけるか伺いたい。
(一同)	(意義の声なし)
川本会長	公開講座受講料の対応案については、後ほど協議したい。 そのほか、意見はあるか。
小林委員	公開講座の出欠を専門講座の出席率に含めないとのことだが、今後、公開講座の出席率が下がらないと良いと思う。
小針委員	市民大学はリピーターが多く、一方で新たな工夫も進んでいる。 議論する必要があることは議論し、改善した方が良い。
川本会長	以上で本日の議題は全て終了といたします。円滑な議事進行に関しまして、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。